

❖ 教室（施設）の予約について

練習や合わせの際に各教室（施設）の予約について以下厳守をお願いします。

1. 予約については当日に限ります。
2. 利用時間は1回につき1時間以内とします。
3. 同時に複数の予約を行うことはできません。
4. 利用終了後は、改めて予約を行うことで再度利用することができます。
5. 事前予約については有料となります。金額については受付にお問い合わせ下さい。
なお、事前予約は借用日の1週間前～前日といたします。
6. 教室内の機器備品等は丁寧に扱って下さい。

副科実技の選択にあたって

「副科」は将来役立つ大きな力です。

国立音楽院では、専攻の楽器（必修実技）以外にもうひとつ以上の楽器習得を奨励しています。いずれの科目の専攻者でも、複数の楽器を演奏できることは、就職など将来にとってきわめて有利だからです。

各専攻学科での実技レッスン1科目は学費（実技費）に含まれます（アートセラピー科を除く）が、2科目からは有料（希望制 副科実技・16万円）になります。選択肢は次のようなものがあります。

【音楽講師】

将来音楽講師として独立するとき、クラシカルだけでなくさまざまなジャンルに精通していることが大きな力となります。ポピュラーピアノ、ジャズピアノ、その他の楽器にも積極的にチャレンジして下さい。特にフルート、サクソフォーン、ヴァイオリンは音楽教室で中高年の生徒の習得希望が急増しています。一定レベルに達した方は、卒業後は本音楽院提携のカルチャーセンターでの活躍が可能となります。

【ヤマハ・システム講師】

ヤマハ・システム講師を目指す方は、ピアノとエレクトーンの両方が弾けることが好ましいと言われています。在校中からピアノとエレクトーンを履修されることをお奨めします。

【幼児リトミック指導員】

即興演奏がこなせれば世界はぐんと広がります。本音楽院の経験と実績豊かな指導で初歩から学んでも即興演奏ができるようになります。まずは「クラシカルピアノ」でのスキルアップ、そして現場ですぐに役立つ「リトミックピアノ」の履修をお奨めします。

【音楽療法士・若返りリトミック[®]・リトミック療育士[®]】

音楽療法士ほど多種類の楽器を扱えることが求められる職種はありません。基本の「クラシカルピアノ」や「ポピュラーピアノ」「セラピーピアノ」そして現場で喜ばれる「セラピーギター」や「各種管弦楽器」などが使えると役立ちます。また「若返りリトミック」では和楽器や持ち運びが便利な楽器（三線・三味線・オカリナ・ハーモニカ・アコーディオン）の習得をお奨めします。音楽療法実技演習は、実習としてカウントされる実技費16万円が必要となる科目です。

【プレイヤー】

プレイヤーは即興演奏＝アドリブをマスターし、多岐にわたるジャンルを勉強することで活躍できるフィールドが飛躍的に広がります。ポピュラーピアノ、ジャズピアノ、各種管弦楽器のジャズ、ポピュラー奏法等多くのレッスンを用意しています。

【管楽器リペアラー】

「木管」・「金管」それぞれの楽器を演奏できることでリペア技術のスキルアップに繋がります。また独立して、中学・高校生にトレーナーとして演奏指導ができるリペアラーも目指します。

【ギター・ベース・ドラムのスペシャリスト】

様々なジャンルの演奏のみならず音作りや楽器調整について学ぶことで、それぞれの楽器のスペシャリストを目指します。

ギター・ベーステック実習、ドラムカスタム実習を専攻学科以外の方が履修する場合は、副科有料授業となります。年間副科28万円＋工具代がかかります。

●ワンツーワンレッスン科目一覧

【鍵盤】－クラシカルピアノ、音楽講師認定対策ピアノ、ポピュラーピアノ、ジャズピアノ、リトミックピアノ、若返りリトミックピアノ、伴奏ピアノ、エレクトーン、アコーディオン、キーボード、鍵盤ハーモニカ

【木管】－フルート（クラシカル・ジャズ）、クラリネット、ファゴット、オーボエ、サクソフォーン（クラシカル・ジャズ・フュージョン）

【金管】－トランペット（クラシカル・ジャズ）、トロンボーン（クラシカル・ジャズ）、ホルン、ユーフォニアム、テューバ

【弦】－エレキギター（ロック・ジャズ・フュージョン・ファンク）、フレットレスギター、フォークギター、アコースティックギター、クラシカルギター、セラピーギター、エレキベース（ロック・ジャズ・フュージョン・ファンク）、ウッドベース（ジャズ・フュージョン）、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハーブ

【打】－打楽器（マリンバ・マルチパーカッション他）、ドラム（ロック・ジャズ・フュージョン）、ラテンパーカッション

【歌】－声楽、ヴォーカル（ポップス・ロック・ジャズ）、弾き語り、ヴォイストレーニング

【アニソン】－声優、ナレーション

【作曲】－クラシカル、ポピュラー、ジャズ、ノンジャンル、J-POP、コンピュータミュージック、和声

【シンガーソングライター】－作詞、作曲、ヴォーカルトレーニング、ヴォーカル、弾き語り

【環境音楽制作】－Mac de 環境音楽、MIDI 検定2級実技、サラウンド作品制作、映像音楽制作

【民族楽器、他】－テルミン、オカリナ、ハーモニカ、ウクレレ

【音楽療法】－音楽療法実技演習

【日本音楽】－和太鼓、琵琶、箏、三線、尺八、三味線

【音大受験】－志望校に応じた個人レッスン

【バレエ】－バレエ

【ダンス】－タップダンス、ジャズダンス、HipHop

【語学】－英語での音楽表現

●楽器のワンツーワンレッスンの内容

- ・副科実技レッスンは必修の実技費に準じ、選択実技の8単位に認定されます。
- ・レッスンは毎週1回30分、又は隔週60分が基本です（レッスンによっては少人数のグループレッスンになることもあります）。
- ・同科目の時間延長（30分）も副科実技レッスン（有料実技）扱いとなります。大きな曲の演奏や作曲に取り組みたい方には延長レッスンをお奨めします。

●副科料金

学生募集要項の実技費に準じます。副科実技レッスンは年間16万円です。ただし、管楽器リペアの授業及び音響デザイン科は、副科授業料として年額28万円になります。（工具代は本科生に準じます）